

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
上三川町	蓼沼地区 (東蓼沼西、東蓼沼東、西蓼沼、中根、向川原)	令和3年3月26日	令和5年3月27日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	183.99ha	
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	116.83ha	63.5%
③地区内における65才以上の農業者の耕作面積の合計	102.66ha	55.8%
i うち後継者未定または不明の農業者の耕作面積の合計	96.96ha	94.4%
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計 (備考)	35.40ha	19.2%

2 対象地区の課題

65才以上の農業者の割合は5割を超えており、さらに75才以上の割合は2割を超えている。中心的な担い手や、集落営農組合などは地区内に存在するが、後継者不足が危惧される。後継者の確保のためには園芸作物の導入等により農業所得の向上を図り、農業の魅力を発信していく必要がある。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

集落営農の法人化などを通して、地区内の農地の集積・集約化の推進を目指す。高収益作物による農業所得の向上を目的として集団での園芸作物の導入を図る。また生産力向上や省力化に向けた組織での営農体制づくりや基盤整備について、検討を進める。